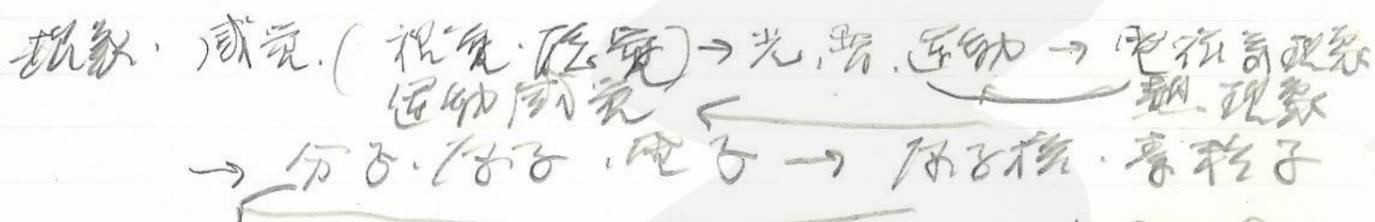
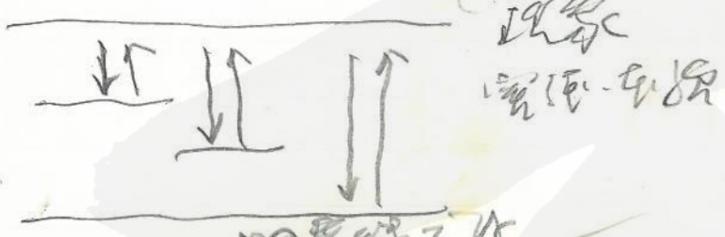


物理学の歴史と概観 (1)
 系大・物理学部 湯川記念館史料室
 July 9, 1963

I. 物理学の二重構造
 巨視的 微視的
 マクロ ミクロ



二重構造の中の物理学の分化
 (古典物理学) 現象論 力学・電磁気学・熱力学
 物理学 物理解論
 量子力学 原子核物理学 (高エネルギー物理学) 現象 宇宙・地球



II. 物理学の国際化としての
 生物学の登場。[しかし、"生物"が多くの物理学
 者へて生物の現象に近づいてきたこと
重層的、階層的に増強してきていること
 によって生物学現象の新しい物理的見解が
進化論の登場
生物物理学の登場の地は
生物物理学、生物物理学の登場の地は
宇宙物理学 (即ち) 宇宙物理学。

C071-013-008

(2)

III. 京都の、超巨視的 視察、
 IV. 理論の加減と一世紀と実験の巨大化
 1929年 昭和4年、

木村正雄	熱力学	分子
藤田又吉	力学	X線
玉川新太郎	電磁力学	相対論
吉田伊三郎	電波物理学	量子力学
中山若松		

1939年 昭和14年

木村正雄	原子核物理学	→ (木村)
藤田又吉	量子力学	→ (藤田)
玉川新太郎		
吉田伊三郎		
中山若松		

→ (小糸) 流体力学 電磁流体力学、量子力学
 固体物理学 → (藤田)
 → (木村) 原子核物理学

(木村) 原子核物理学
 (藤田) 核工学的
 (伊三郎) 中性子物理学
 本城 放射線生物学

V. 未来展望
 1) 共同研究 → 共同研究の促進
 2) 研究の発展、方法の発展の物理
 3) 伝統と特色
 4) 国際的な共同研究、
 { 基礎物理学 → 1984年
 生物物理

(3)

5) 死後、葬がえり、菩提、
一つの給与が平均から少し平均への
平均うつり、

6) 研究の career
40年間に研究を以て「小の可成りか、
1900年 → 1930年代
40年間

1920年代に研究生活を始めた人々
1960年代まで、いかにして career を
つづけたか、貴国研究の歴史性
研究と教育、再教育のありかえり、
成長教育の重要性
若くして研究に専念し研究を志す者達

7) 大学の教育の進化
総論的
大分論的
研究を以て 物理大分 } [学問的
(歴史的方法)
研究的方法]